

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 4 月 1 日

事業所名 フォトハウスKids

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		小グループ編成	未就学児の活動スペースの新設を検討中
	2 職員の配置数は適切である	○		パート職員も増員	パート職員退職時の次への確保迅速な対応と有資格者職員の増員の検討
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	ミニ階段の設置	現在身体障がいのある児童の利用は無いが今後に向けての継続的検討課題
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		未就学児の活動の場所を別に設けた	職員体制の確保
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎朝や児童帰宅後の全体ミーティング	記録整備を更に充実させて保護者と共有する
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			平成29年度分を踏まえ30年度を実施。積み残しの課題の改善
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		これから業者に外注して掲載する
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		組織的に大きくなったので検討
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	事業所内では実施	外部研修への積極的参加と体制の確保
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		全職員の意見反映	計画的スケジュール化で面談機会を増やす
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			個々人のスキルアップの積み重ねの上での集団的実践
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			家族支援の視点も重要視する
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		利用時間枠に応じて	個別活動・集団活動を日々の児童の様子を判断しながらの組み合わせ
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			アイデアの出し合い見直し・試行改善の繰り返し
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		流行を追う・作る	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○			個別活動での成長と集団生活の関係構築を引き続き大切な着目点とする	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		体制と活動内容のバランス	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			記録整備の充実
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		書式の充実	それぞれの児童の様子を具体的に記録する書式に変更
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		送迎時などにご家族からの聞き取り	モニタリングの形式として不十分計画的遂行が必須の課題
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		全職員で参加	相談支援員に来所していただく機会を増やす
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		低年齢層の児童の増加に鑑み積極的に連携を図る
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現状は対象となる児童の利用が無い
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現状は対象となる児童の利用が無い
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		必要性に応じ積極的交流を図る
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		必要性に応じ積極的交流を図る
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		事業所連絡会に参加	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		障がいのあるお子様をお持ちのご家族の心情を尊重
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		必要性に応じ積極的交流を図る
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やお電話にてできる限りの時間を掛ける	利用児童増加で以前ほど時間を取れず新たな機会の捻出が課題
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		相談には真摯に対応している	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		可能な限り長く時間を掛けている		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			定期的モニタリングと見直しの機会の増加と厳守	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談には真摯に対応している	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者参観行事	賛否両論のため精査してゆく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談には真摯に対応している	有資格者職員の増員
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		写真販売など	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			同じような事例の話の場でも個人名を挙げることをないように周知徹底してゆく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			個別相談機会を充実させる
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		障がいのあるお子様をお持ちのご家族の心情を尊重
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		保護者にも配布	想定訓練の更なる計画・実行
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		児童にも危険予測や回避の学習会	保護者への実施報告
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ベースシートに保管	ケース検討の際に全員で再認識する
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	ベースシートに保管	特段の配慮を要する児童が現在は利用していない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	事例検討学習は実施	事例集を作成して学習機会を増やしてゆく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所内研修は実施	外部研修への積極的参加と体制の確保
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 フォトハウスKids

保護者等数(児童数)5名 回収数 4名 割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%	0%	0%	0%	活動場所が複数あり満足している	活動スペースの拡充を計画中
	2 職員の配置数や専門性は適切である	75%	0%	0%	25%	専門性は解らない	お便りに職員の自己紹介を掲載
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	75%	25%	0%	0%	階段の移動があるので配慮が必要	常に児童と共に安全に配慮した移動を心掛ける
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%	落ち着いた場所になっている	評価頂けたことを堅持してゆく
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	75%	0%	0%	25%	短期・長期の視点で目標設定してくれているか	日々の様子だけでなく、目標に照らし合わせた上での様子の報告
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	50%	0%	0%	50%	目標設定に関する説明が明確ではない。	家族支援の視点が不十分だと捉えお子さんの姿を通してご家族にも納得して頂けるように一層の努力
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	50%	0%	0%	50%	実際の支援場面が見れておらず解らない	保護者に来所してもらえるように呼び掛けと、行事の設定
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	0%		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	25%	0%	50%	25%	日々通園しているので必要性を感じない	未就学児の利用が増加すればメリット・デメリットを精査して実施
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	75%	0%	0%	25%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	25%	0%	25%	50%		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	75%	25%	0%	0%		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	50%	25%	25%	0%	面談を定期的実施して欲しい	スケジュール化の徹底と厳守
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	25%	25%	25%	25%		
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	100%	0%	0%	0%	利用日・時間変更を柔軟に対応してくれる	引き続き可能な限りの柔軟対応	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	75%	0%	0%	25%	ホームページを見れていない	ホームページの積極的な啓発と活動写真の配布などの継続
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	75%	0%	0%	25%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	75%	25%	0%	0%	送迎時のマニュアルが徹底できているか不安	マニュアルの押さえ直しの機会と安全運転講習会等の受講
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	50%	0%	0%	50%	訓練実施報告が欲しい	行事予定表やお便りでの報告
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	75%	25%	0%	0%	家に居たい (親と過ごしたい)	通所を楽しんでもらう工夫の継続
	23	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。